

# 看護部

---

## 14階病棟

2014年度 病棟目標

- ①安全・安楽な治療環境の提供と質の高い看護の提供ができる
- ②各スタッフが主体性を持って看護に取り組み、目標を持って互いに成長しあえる

主に化学療法・放射線療法を行う患者様の入院治療を行う病棟として45床（無菌室5床含）で稼動しています。診療科としては血液内科・呼吸器内科・外科・婦人科などの患者様が多く入院し、専門性の高い治療が行われており、看護師には薬剤に関する広い知識と技術、正確な薬剤の実施管理が求められます。

また、昨年度より血液内科では幹細胞移植（自家移植）が開始され、治療を受ける患者様も徐々に増加してきています。治療・看護に対して勉強会を行い、安全な医療が提供できるよう日々努力しています。

看護体制は固定チームナーシング、継続受持ち制を取り入れ、入退院を繰り返しながら治療を継続する患者様に個別的・継続的な看護が提供できるようにしています。また、血液内科では多職種による全体回診・患者カンファレンスを週に1回実施し、情報共有と退院に向けた治療・看護のゴール設定を行っています。

また、がん化学療法認定看護師・がん性疼痛認定看護師がおり、患者様への安全安楽な看護の提供に向けての活動を行っています。患者看護だけでなく、病棟スタッフへの教育も積極的に行っています。